

認定NPO法人子どもの心理療法支援会主催
子どもの精神分析的心理療法セミナー

育ち人を支える

メンタライゼーション

講師：ガヴィニオ重利子氏



日時

2025年7月20日

13:00-18:00

申込フォーム（クリック/タップ）

[https://forms.gle/j](https://forms.gle/jWmQ7DfrcqWTVPYg17)

[WmQ7DfrcqWTVPYg17](https://forms.gle/jWmQ7DfrcqWTVPYg17)

形態：ZOOMでのオンライン開催

対象者：臨床心理士、公認心理師、
医師、大学院生、研修生

定員：200名 *先着順

参加費：サポチル会員・7,000円、
非会員8,000円

日本臨床心理士資格認定協会から、
「短期型ワークショップ（2点）」

として承認を受けています
（オンラインのみ）。



セミナーの趣旨

親の省察機能 Parental Reflective Functioning (PRF)とは、子どもの行動や言動の背景にある感情、希望、願望などのこころの状態に思いを馳せ、自分自身のこころの状態についても、それが子どもとの間でどのような作用や影響を受けているかについて考えを巡らせることのできる親の力を指します。それは安定的な愛着形成を通して子どもの社会的発達を支え、精神的健康や他者から学ぶ力（信頼）を育みます。現在までに蓄積されてきている研究、メカニズムや理論的概要を振り返りながら、その実践については親支援を中心に、しかしそこには留まらない多職種連携や支援者支援への示唆についても、ぜひ一緒に検討してみたいと思います。児童相談所や養護施設は勿論のこと、学校や病院など「育む人」を支える臨床に従事しておられる皆さまのご参加を、楽しみにお待ちしております。

講師

ガヴァニオ 重利子氏



臨床心理士。スイス・ジュネーブ州 Child-Parent Counselling開業。主に児童・思春期の子どもやその保護者を対象とした臨床に従事。児童・思春期対象Mentalization Based Treatment (MBT-C、MBT-A) の認定療法士・スーパーバイザー。英国 University College London Psychanalysis Unit博士課程ならびに Anna Freud Centreに在籍し、日本の臨床家が持つMBT実践体験の調査を通して、欧米から輸入される心理療法や信頼関係構築メカニズムにおける文化的適応について研究。

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

〒604-8187

京都市中京区東洞院

通御池下ル笹屋町444

初音館302

E-mail: kodomo.seminar@sacp.jp